



# 2026年8月期 第2四半期 決算説明資料



株式会社 I N G S  
(証券コード：245A)

2026年4月

## 2026/8期 2Q累計業績

- 既存店はラーメン事業102.1%、レストラン事業101.8%の水準にて推移し、新規出店における上乗せ分も寄与する中で売上高は4,447百万円(昨対比+816百万円)で着地
- 前期の特殊要因(影響額:44百万円)がありながらも、経常利益は244百万円(昨対比+107百万円)で着地

## 2026/8期 2Q Topics

- 直営店ではラーメン事業で計3店舗を新規出店。「元祖焼豚センターうる寅商店」横浜店については、既存店の業態変更となっており、新規ブランドとして出店
- ラーメン事業及びレストラン事業における加盟店(※)については、新規で4店舗がオープン

※ラーメン事業におけるプロデュース・ライセンス店舗及び、レストラン事業におけるライセンス店舗を指しております。

# Section 1. 2026/8期 第2四半期 決算報告

---

- 売上高では、新規出店における上乘せ分も寄与したこと、売上総利益率は、メニュー変更や、売上高に占める直営店の割合が増えたこと等も背景に昨対比+0.7%にて着地
- 営業利益では昨対比+87百万円にて着地。前期は外形標準課税適用想定による租税公課増及び2店舗の休業があった期であったが、それらの影響額(44百万円)を除いても増益にて着地
- 経常利益では、前期は上場関連費用及び株式交付費が発生していたこともあり、昨対比+107百万で着地

(百万円)	2025/8期 2Q	2026/8期 2Q	前年増減	前年比
売上高	3,630	4,447	+816	+22.5%
売上総利益	2,414	2,987	+573	+23.7%
営業利益	166	254	+87	+52.3%
経常利益	136	244	+107	+78.4%
当期純利益	70	159	+88	+125.6%
売上高総利益率	66.5%	67.2%	+0.7%	-
営業利益率	4.6%	5.7%	+1.1%	-

- 新規出店店舗の上乗せ、両事業における既存店の成長を踏まえ、2026/8期の前年比での売上高成長率は20%超の水準となった

売上高成長率

22.5%

新規出店数

直営店

3店舗

加盟店

4店舗

既存店売上高  
(前年同期比)

ラーメン事業

102.1%

レストラン事業

101.8%

# 2026/8期 第2四半期累計 業績サマリー(セグメント損益)

(百万円)	25/8期 2Q	26/8期 2Q	前年増減
売上高(A)	3,630	4,447	+816
ラーメン事業	1,905	2,423	+517
レストラン事業	1,725	2,024	+299
営業利益	166	254	+87
ラーメン事業	146	212	+66
レストラン事業	20	41	+20
営業利益率	4.6%	5.7%	+1.1%
営業利益+のれん等償却費(※)(B)	221	309	+88
ラーメン事業	147	214	+67
レストラン事業	74	95	+20
(B)÷(A)	6.1%	7.0%	+0.9%
ラーメン事業	7.7%	8.8%	+1.1%
レストラン事業	4.3%	4.7%	+0.4%

# 2026/8期 第2四半期 業績サマリー(貸借対照表)

- IPO時の増資資金を活用し、新規出店に係る設備投資(有形・投資その他の資産)が増加
- 無形固定資産はのれん等の償却があり、314百万円まで減少
- 総資産は4,857百万円、純資産は2,121百万円まで増加

(百万円)	25/8期	26/8期 2Q	増減
流動資産	1,964	2,134	+170
現金及び預金	1,579	1,693	+114
売掛金	164	180	+15
その他	220	260	+40
固定資産	2,598	2,720	+122
有形固定資産	1,513	1,681	+167
無形固定資産	370	314	△55
投資その他の資産	713	724	+10
総資産合計	4,563	4,857	+293

(百万円)	25/8期	26/8期 2Q	増減
流動負債	1,314	1,317	+2
買掛金	257	258	+0
1年内社債・長期借入金	480	503	+22
その他	576	555	△20
固定負債	1,288	1,417	+129
社債・長期借入金	1,055	1,174	+118
その他	232	243	+10
純資産	1,960	2,121	+161
負債純資産合計	4,563	4,857	+293

2026/8期 第2四半期累計 キャッシュ・フロー計算書における主な内容は以下の通りとなります

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ✓ 税引前当期純利益：251百万円、減価償却費：97百万円、のれん償却額：46百万円  
法人税等の支払額：△90百万円

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ✓ 有形固定資産の取得による支出：△276百万円、敷金及び保証金の差入による支出：△26百万円

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ✓ 長期借入による収入：300百万円、社債の発行による収入：98百万円  
長期借入金の返済による支出：△233百万円、社債の償還による支出：△25百万円

(百万円)	25/8期 2Q累計	26/8期 2Q累計	前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	102	280	+178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△424	△306	+117
財務活動によるキャッシュ・フロー	609	140	△468
現金及び現金同等物の期末残高	1,293	1,693	+400

## Section2. 2026/8期 第2四半期 Topics

---

# Topic①：新規出店（直営店）

- 直営店はラーメン事業で2025年12月に計3店舗を新規出店
- 「元祖焼豚センターうる寅商店」横浜店については既存店の業態変更となっており、新規ブランドとして出店

2025.12.04

日本油党  
新橋支部  
OPEN



2025.12.22

らぁ麺はやし田  
上野御徒町店  
OPEN



2025.12.29

元祖焼豚センター  
うる寅商店 横浜店  
OPEN

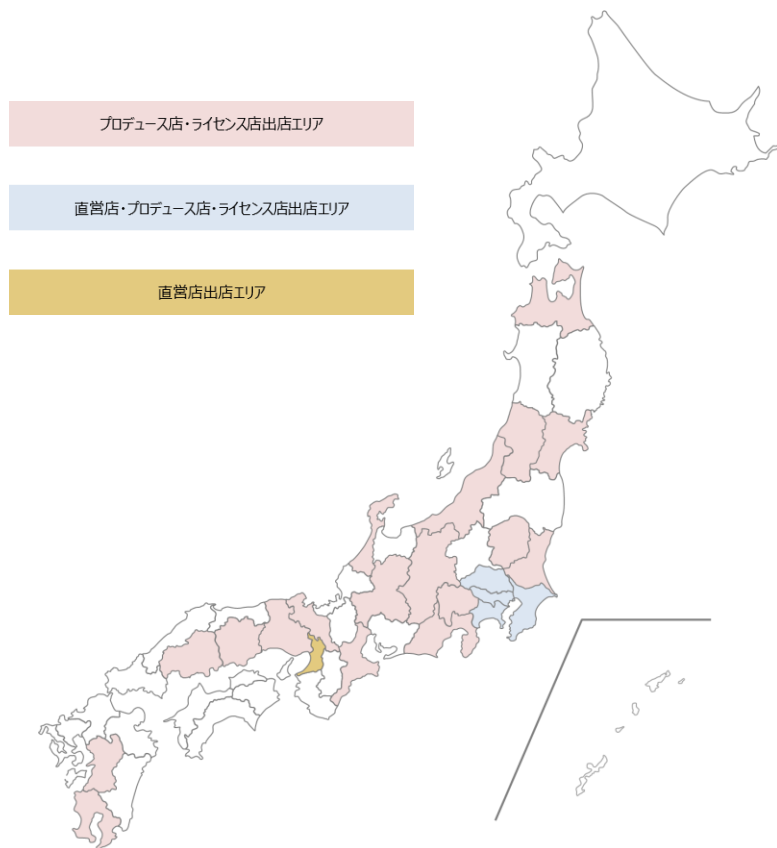
新規ブランドとして出店



# Topic② : 新規出店(プロデュース・ライセンス店)

- ラーメン事業及びレストラン事業における加盟店については、**新規で4店舗**がオープン
- 出店エリアにつき、**一都三県、地方それぞれで展開が広がっている状況**

直営店・プロデュース、ライセンス店 出店済エリア(2026年2月末時点)



※一都三県は、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を示しております。

(ご参考)エリア毎の出店戦略イメージ

	一都三県 (※1)	一都三県 (※1)	一都三県以外 (※2)	一都三県以外 (※2)
	都市型	郊外・ロード サイド型	都市型	郊外・ロード サイド型
ラーメン事業 直営店	✓	✓	—	—
レストラン事業 直営店	✓	—	—	—
ラーメン事業 プロデュース店	✓	✓	✓	✓
レストラン事業 ライセンス店	✓	—	✓	—

※1 直営店：一都三県の主に乗降客数10万人以上のエリア  
プロデュース店、ライセンス店：一都三県の主に乗降客数3万人以上のエリア  
での出店を想定

※2 直営店はあくまで一都三県中心の出店ではあるものの、一部、大阪府等の3大都市圏の出店も想定

## 参考資料①. 会社概要

---

# 事業内容-ラーメン事業（直営店部門）

- ラーメン事業 直営店部門は、「らぁ麺 はやし田」が主カブランドであり28店舗を展開
- 2023年3月に1号店をOPENした「日本油党」も足元出店を増やしている

ジャンル	醤油	油そば	塩	煮干し	家系	スタミナ
ブランド						
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ はやし田は、ラーメン事業の主軸ブランド</li> <li>✓ 鴨、大山鶏の丸鶏を使用した醤油ベースのらぁ麺を提供</li> <li>✓ うる寅商店はどこか懐かしさのあるクラシックな中華そばを提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 油そば専門店</li> <li>✓ ベーシックな油そばから、釜玉油そば、たらこバター釜玉 油そば等を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 金目鯛のアラを使用した鯛スープ</li> <li>✓ のど越しを重視した全粒粉入りの香り豊かな細麵を使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 煮干スープと、豚骨、鶏ガラ等の数種類の動物系食材を併せたダブルスープをベースとしたラーメン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 豚や鶏の骨を大量に使用し、肉感や骨感も残し、濃厚なスープを炊き出した家系ラーメン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 豚ベースのスープに漆黒の甘醤油、極太麵、背脂、ニンニク、ショウガをガツンと効かせたパワフルなスタミナラーメン</li> </ul>
商品写真						

- ラーメン事業 プロデュース部門では、ラーメン店の開業に関する支援、当社のPB(プライベートブランド)商品を販売。屋号は当社のブランド名でなく、**オーナー様独自の屋号にて展開**
- 開業時に負担する加盟金や研修費をゼロとしていること、また、居抜きでの出店も可能であることから、オーナー様は**投資額を抑えた出店が可能**

## プロデュース部門の特徴

項目	概要
屋号	オーナー様のオリジナルブランドとすることが可能
指定食材	メインの食材 (麺、タレ、スープのみ) (※)
加盟金	0円
研修費	0円
月額フィー	月額5万円

## プロデュース部門の店舗出店事例



## ● CONAの特徴

- ① 生地から手作りの窯焼きPIZZA  
30種以上がALL500円
- ② サイドメニューも500円～
- ③ WINE BOTTLEが1本1,900円～

## ● 焼売のジョーの特徴

- ① ありそうでなかった焼売酒場
- ② 焼売1個99円
- ③ 中華料理から居酒屋定番おつまみ、  
SNS映えするメニューも提供

いずれのブランドも客単価2,500円前後となっており、リーズナブルな業態  
⇒直営店のみならず、ライセンス店を通じ、地方含めた全国展開が可能なモデル



- 当社株式への投資の魅力を高め、より多くの株主様に中長期で当社株式を保有いただくこと、当社事業、運営店舗の認知や、理解の拡大を図ることを目的として株主優待をご用意
- 優待の内容としては、店舗で利用できる食事券に加え、店舗へのご来店が難しい株主様のことも勘案し、ECサイトでの利用も選択肢としてご用意

保有株数	優待内容
100株～299株	2,000円相当(1,000円相当×2枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間4,000円相当)
300株～499株	6,000円相当(1,000円相当×6枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間12,000円相当)
500株以上	10,000円相当(1,000円相当×10枚)の食事券(電子チケット)(※) (年2回、年間20,000円相当)

## 電子チケット 利用可能範囲

- ① ラーメン事業 直営店・・・1枚につき、券売機及びメニュー表からお好きな一品が無料
- ② レストラン事業 直営店及びライセンス店(一部店舗除く)・・・上記金額を割引
- ③ ECサイト(らぁ麺の冷凍商品)・・・上記金額を割引  
(それぞれにつき、ご利用代金が電子チケットの金額を下回った場合には、差額の返金はありません。)

## 対象となる株主様

継続して半年(6ヶ月)以上、当社株式を100株以上保有する株主様を対象

## 判定の時期

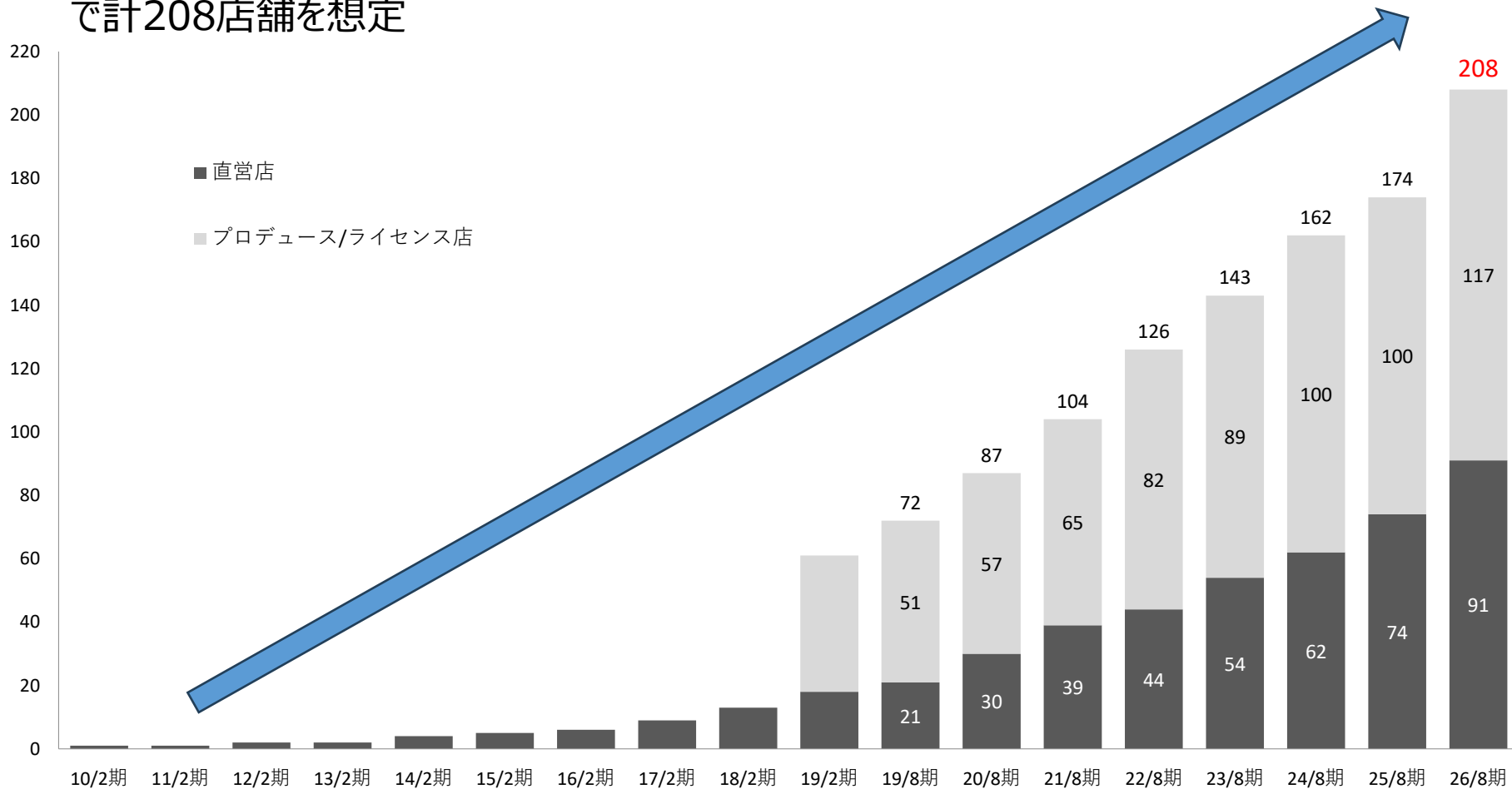
2月末及び8月末時点の当社株主名簿に、同一株主番号で連続2回記載され、当社株式を100株以上保有されている株主様を対象

## 参考資料②. 2026/8期 業績見通し(変更なし)

---

# 店舗数推移及び2026/8期 新規出店計画

- コロナ禍においても新規出店を継続、2025年8月末時点の合計店舗数は174店舗
- 2026/8期は直営店でラーメン事業11店舗、レストラン事業8店舗の計19店舗出店(純増では17店舗を想定)、プロデュース・ライセンス店では純増17店舗を計画し、2026年8月末で計208店舗を想定



計画

# 2026/8期 通期業績予想(損益計算書)

- 前述の新規出店数の想定を踏まえ、売上高の構成としては直営店の割合が引き続き前年対比増加する想定とし、全社で24%の成長率を想定
- 既存店の売上高水準については、2事業ともに前年比100%程度を想定
- 営業利益率については、人件費の増加は織り込みつつも固定費割合の減少も踏まえ、前年同程度を想定

(百万円)	2025/8期	2026/8期	前年増減	前年比
売上高	7,732	9,590	+1,858	+24.0%
ラーメン事業	4,083	5,214	+1,131	+27.7%
レストラン事業	3,649	4,377	+728	+19.9%
売上総利益	5,175	6,423	+1,247	+24.1%
営業利益	490	596	+105	+21.4%
経常利益	449	565	+115	+25.7%
当期純利益	272	339	+67	+24.8%
売上高総利益率	66.9%	67.0%	+0.0%	-
営業利益率	6.3%	6.2%	△0.1%	-

- 本資料に含まれる当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っており、またこれを保証するものではありません
- 本資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます
- 今後、新しい情報・出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません